

履修モデル

(参考:2011 年度)

アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科 博士前期課程シニアコース アメリカ文化学の研究を中心にした履修モデル

1年次

		3時限(土曜 1時限)			4時限(土曜 2時限)			6時限(土曜 3時限)			7時限(土曜 4時限)			
		分野名	科目名	単位	分野名	科目名	単位	分野名	科目名	単位	分野名	科目名	単位	
月	春													
	秋													
火	春	アメリカ	アメリカ文化学研究E			4	アメリカ	アメリカ文化学研究A			4			
	秋							演習	アメリカ文化学A演習I			4		
水	春	キリスト教文化学研究A	4											
	秋													
木	春							必修	アメリカ・ヨーロッパ文化学総論	2	共通	研究方法特論I	2	
	秋													
金	春	アメリカ	アメリカ文化学研究B			4								
	秋	演習	アメリカ文化学B演習I			4								
土	春													
	秋													
履修単位内訳	分野	共通必修	アメリカ	ヨーロッパ	キリスト	英語コミュ	日本文化	共通・原書	演習	他研究科	総計			
	春	2	12		4			2			16			
	秋								8		12			
	計	2	12		4			2	8		28			

政治政策学研究科 社会人で税理士を目指す方の履修モデル

1年次

		3時限(土曜 1時限)			4時限(土曜 2時限)			6時限(土曜 3時限)			7時限(土曜 4時限)		
		分野名	科目名	単位	分野名	科目名	単位	分野名	科目名	単位	分野名	科目名	単位
月	春												
	秋												
火	春												
	秋												
水	春												
	秋												
木	春							必修	政治思想研究	2	税法・経済	租税法研究B	2
	秋							必修	デモクラシー・人権政策研究	2	税法・経済	応用経済学研究	2
金	春												
	秋												
土	春				税法・経済	租税法研究C	2	税法・経済	租税法研究A	2	公共政策	公共政策研究	2
	秋	政治・政策	集中講義：北東アジア国際関係研究		2	演習	租税法演習I						
履修単位内訳	分野	選択必修	政治・政策	税法・経済	公共政策	共通・原書	演習	文化研	福祉研	総計			
	春	2		6	2					10			
	秋	2	2	2			4			10			
	計	4	2	8	2		4			20			

人間福祉学研究科 社会人でスピリチュアルケアの研究を中心にした方の履修モデル

1年次

3時限(土曜 1時限)				4時限(土曜 2時限)				6時限(土曜 3時限)				7時限(土曜 4時限)			
		分野名	科目名	単位	分野名		科目名	単位	分野名	科目名	単位	分野名		科目名	単位
月	春														
	秋														
火	春							臨床死生学	キリスト教とカウンセリングⅠ			4			
	秋							臨床死生学	キリスト教とカウンセリング事例研究			4			
水	春														
	秋														
木	春														
	秋														
金	春														
	秋							演習	研究演習Ⅰ	2					
土	春	必修	隔週：研究法入門			2	コア	精神保健学研究	2	コア	臨床死生学概論	2			
	秋	臨床死生学	スピリチュアルケア特論Ⅱ			4	臨床死生学	グリーフケア特論	2	臨床死生学	臨床死生学特論Ⅰ	2			
履修単位内訳	分野	必修	コア	福祉学	児童学	臨床死生	演習	関連科目	総計						
	春	2	4			4			10						
	秋					12	2		12						
	計	2	4			16	2		24						

	3時限(土曜 1時限)	4時限(土曜 2時限)	6時限(土曜 3時限)	7時限(土曜 4時限)
月	12:50～14:20	14:30～16:00	18:00～19:30	19:30～21:00
火～金	13:30～15:00	15:00～16:30	18:00～19:30	19:30～21:00
土	9:00～10:30	10:30～12:00	12:50～14:20	14:30～16:00

2年次

		3時限(土曜 1時限)			4時限(土曜 2時限)			6時限(土曜 3時限)			7時限(土曜 4時限)			
		分野名	科目名	単位	分野名	科目名	単位	分野名	科目名	単位	分野名	科目名	単位	
月	春	日本文化	日本プロテスタント文化研究				4							
	秋													
火	春													
	秋													
水	春													
	秋													
木	春													
	秋								必修	デモクラシー・人権政策研究	2			
金	春	キリスト	キリスト教文化学研究CⅠ	2										
	秋	キリスト	キリスト教文化学研究CⅡ	2										
土	春													
	秋													
履修単位内訳	分野	共通必修	アメリカ	ヨーロッパ	キリスト	英語コミュ	日本文化	共通・原書	演習	他研究科	総計			
	既修得	2	12		4			2	8		28			
	春				2		4				6			
	秋	2			2						4			
	計	4	12		8		4	2	8		38			

2年次

		3時限(土曜 1時限)			4時限(土曜 2時限)			6時限(土曜 3時限)			7時限(土曜 4時限)		
		分野名	科目名	単位	分野名	科目名	単位	分野名	科目名	単位	分野名	科目名	単位
月	春										公共政策	まちづくり論研究	2
	秋							選択必修	集中講義：政治・政策学研究			2	
火	春												
	秋							公共政策	隔週：埼玉地域政策研究			2	
水	春												
	秋												
木	春										税法・経済	租税法研究B	2
	秋												
金	春												
	秋												
土	春							演習	租税法演習Ⅱ	4			
	秋												
履修単位内訳	分野	選択必修	政治・政策	税法・経済	公共政策	共通・原書	演習	文化研	福祉研	総計			
	既修得	4	2	8	2		4			20			
	春			2	2		4			4			
	秋	2			2					8			
	計	6	2	10	6		8			32			

2011 年度入試データ

研究科	定員	入試種類	夏期入試		秋期入試		春期入試		2011 年度入試		
			出願者	合格者	出願者	合格者	出願者	合格者	出願者	合格者	備 考
政治政策学	10	一般	0	0	5	5	0	0	5	5	
		留学生	0	0	0	0	1	1	1	1	
		社会人	2	2	4	4	7	4	13	10	
		計	2	2	9	9	8	5	19	16	
アメリカ・ヨーロッパ文化学 ＜博士前期＞	5	一般	1	1	0	0	1	1	2	2	秋入学1
		留学生	1	1	0	0	0	0	1	1	
		社会人	1	1	0	0	2	2	3	3	秋入学1 シニア1
		計	3	3	0	0	3	3	6	6	
人間福祉学	10	一般	1	0	1	0	1	1	3	1	
		留学生	1	1	0	0	0	0	1	1	秋入学1
		社会人	0	0	3	2	3	3	6	5	
		計	2	1	4	2	4	4	10	7	
修士課程合計	25	一般	2	1	6	5	2	2	10	8	
		留学生	2	2	0	0	1	1	3	3	
		社会人	3	3	7	6	12	9	22	18	
		計	7	6	13	11	15	12	35	29	
アメリカ・ヨーロッパ文化学 ＜博士後期＞	5	一般			1	1	6	6	7	7	
総計	30		7	6	14	12	21	18	42	36	内3名秋入学

サポート体制

奨学金制度 聖学院大学大学院は、大学院生のために各種奨学金を充実させています。

名 称	金 額	出願期間	備 考
日本学生支援機構 大学院奨学金	第1種：月額 50,000 円・88,000 円・122,000 円 第2種：月額 50,000 円～150,000 円 (2011 年度実績)	入学後に公募 (4 月下旬)	貸与制
聖学院大学大学院 特別奨学金	80,000 円～365,000 円	入学後に公募 (6 月上旬)	給付制
聖学院大学後援会奨学金	80,000 円～365,000 円	入学後に公募 (6 月上旬)	給付制
稲永奨学金	80,000 円～365,000 円	入学後に公募 (6 月上旬)	給付制
ロータリー米山記念奨学金	月額 140,000 円	留学生のみ (45 歳以下)	給付制

リサーチ・アシスタント (RA) 制度・ティーチング・アシスタント (TA) 制度

大学院生の経済的なサポートと研究遂行能力を向上させるため、聖学院大学大学院では政治政策学研究科、アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科、人間福祉学研究科とも、リサーチ・アシスタント (RA) 制度およびティーチング・アシスタント (TA) 制度を導入し、援助を行っています。いずれの制度も、給与や勤務条件、募集要領などについては、入学後に告知します。

リサーチ・アシスタント (RA) 制度	ティーチング・アシスタント (TA) 制度
聖学院大学総合研究所、聖学院大学大学院が主催する研究会やシンポジウム、共同研究等を開催遂行するための補助業務を行うのが、リサーチ・アシスタントです。それぞれの研究代表者の指示に従って、研究活動推進のサポートにあたります。応募対象者は博士後期課程の大学院生とします。	聖学院大学学部で授業科目に関わる教育上の補助業務を行うのがティーチング・アシスタントです。授業を担当する教員の指示に従い、履修指導や実習・演習のサポートにあたります。応募対象者は修士課程／博士前期課程の大学院生とします。

2010 年度在籍状況 (2010.5.1 現在) 修了状況

学年	政治政策学	アメリカ・ヨーロッパ文化学 ＜博士前期＞	人間福祉学	修士計	アメリカ・ヨーロッパ文化学 ＜博士後期＞	研究科名	2010 年度	2009 年度	2008 年度
3 年次					13	政治政策学	18	18	18
2 年次	19	7	18	44	3	アメリカ・ヨーロッパ文化学 ＜博士前期＞	4	3	3
1 年次	26	5	4	35	5	人間福祉学	12	6	13
計	45	12	22	79	21	アメリカ・ヨーロッパ文化学 ＜博士後期＞	4	3	5

<主な進学先・勤務先>

さいたま市役所、本庄市市議会議員、埼玉県、小山市役所、聖学院大学大学院アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科博士後期課程、合同酒精㈱、名古屋経済大学大学院博士後期課程、聖学院、日本ドナルドタン㈱、関東自動車協議会、ヤマハ㈱、巢鴨市役所、財務省東京税関、上尾市役所、福岡県立大学、大阪キリスト教短大、静岡県立大学大学院博士後期課程、九州大学大学院博士後期課程、トリニティ・ウェスタン大学連合カナダ神学校修士課程、千葉商科大学大学院博士後期課程、東武鉄道㈱、埼玉県社会福祉事業団、保護監察官、東亜学園高校、我孫子市市議会議員、㈱ダイワ高齢社会研究財団、㈱日本 M&A センター、全国農業協同組合、㈱日本看護協会看護教育センター、石川県、厚生労働省、静岡県立大学、文京大学付属中学校・高等学校、帝京大学、東京 YMCA 社会体育・保育専門学校、埼玉県議会議員、島根大学医学部、電通、日本私立学校振興・共済事業団、みずほ銀行、社会福祉協議会、戸田翔陽高校、㈱村山鋼材、経済産業省、教育委員会、㈱ヘアレンツ、深谷メンタルクリニック、㈱ローション、東日本銀行、清水建設㈱、聖学院大学総合研究所、浦和税理士法人、㈱日本政策金融公庫、TAC㈱、㈱日本エスシーマネージメント、㈱グローイング総研、㈱エムエムジー経営研究所、ハイトスコオペレーション㈱、㈱リアル、(財)高齢者住宅財団、JTB 日本交通公社、東京西徳州会病院

過去の論文テーマ

アメリカ・ヨーロッパ文化学研究所

【博士前期課程】

- グリムとドイツの心 ―兄弟愛を中心にして
- スピノザの自由論 ―『倫理学』における自然と自由に関する一考察
- 1976 年のルーテル教会ミズーリ・シノッド分裂の研究
- ラインホルド・ニーバーの世界共同体論 ―『光の子と闇の子』および『国家と帝国の構造』を中心に
- 明治初期の宗教問題と岩倉使節団 ―1868～1873
- 日本の同化政策と韓国キリスト教会
- ミルトンの Paradise Lost に描かれた神
- H.B. ストウの『アंकフル・トムの小屋』が問いかけたもの ―自由とキリスト教について
- スザンナ・ウェスレーの教育論 ―ピューリタニズムの伝統から見た
- ファーガソンの『市民社会史』 ―文明の墮落を中心に
- マーティン・ルーサー・キングが目指した「平等・自由・正義のアメリカ」 ―彼の演説をもとにして
- ルターの神学的逆説の研究 ―『ハイデルベルク討論』で展開された関係概念・神認識・愛
- 現代アメリカにおける黒人教会の役割 ―黒人貧困問題を中心にして
- 13 世紀ゴシック・ステンドグラスに関する研究 ―シャルトル大聖堂のステンドグラスの画面構成について
- メアリ・ウルストンクラフトの女性解放論 ―『女性の権利の擁護』(1792 年)を手がかりに
- 初期ラスキの政治思想 ―自由主義と多元的国家論
- トマス・ペインの政治思想 ―『コモン・センス』と『人間の権利』を手がかりに
- 真実の仮象 ―ニーチェの真理概念

【博士後期課程】

- フランツ・ローゼンツヴァイクの新しい思考 ―時間、永遠性、神
- オクタヴィア・ヒルにおける『永続する精神』 ―理想実現としてのナショナル・トラスト
- 山路愛山におけるキリスト教思想 ―教会・国家・「大要求」
- 森有正研究 ―「人間」と「思想」の意味、および「日本人の思想」との関連性
- ウォルター・リップマンの 20 世紀アメリカ外交評論 ―「適切な」国際的関与の探求
- ディケンズと悪 ―「悪」を照らし出す「光」に魅入られた人の物語
- 「日本の神学」の構築 ―大木英夫神学基礎構造の研究
- P.T. フォーサイスにおける祈りの格闘性 (Prayer as a wrestling with God) の神学的考察 ―十字架から汲み出す祈り
- 石橋湛山の政治思想―明治・大正・昭和の三代を生き抜いたリベラル・デモクラット
- 「自由世界」の実現を目指して ―フリーダム・ハウスの活動の軌跡 ―第二次大戦からベトナム戦争まで
- ジョン・パニヤンにおける律法と恩恵
- 翻訳で Hamlet を読めるか？
- カッシーラのシンボル哲学 ―言語・神話・科学に関する考察
- A.D. リンゼイの政治思想 ―近代デモクラシーとプロテスタンティズム

【博士号授与（論文博士）】

- 17 世紀イングランドにおける教会統治論の研究 ―ウェストミンスター教会統治規程およびサボイ綱領のテキストとコンテキストを中心に
- 社会福祉における相互的人格主義 ―人間の物象化からの離脱と真の主体化を目指して
- 日露戦争期における欧米の「日本」表象 ―人種主義と文明化に着目して
- 非行少年の家族画の研究 ―相互作用性に着目した技法理解とその活用

政治政策学研究所

- 地方分権時代における固定資産税のあり方への考察
- 事業税の外形標準課税に関する一考察
- 変動する社会環境と自治体改革―ビジネス手法の導入とその限界
- 義務教育の再考―戦後における基礎学力観の推移学習指導要領<中学校>の変遷と中学生の実態
- 地方議会の研究―地方分権型社会における市議会と議員像
- 市町村合併に係る住民投票の一考察
- 基礎自治体単位での商店街維持・活性化の仕組み―中心市街地活性化法、まちづくり条例、商店街維持・活性化条例での再生
- 合併における繰越欠損金に関する一考察
- イギリスにおけるナショナリズムの起源―近代初頭イングランドにおける一事例
- 医療・福祉政策の基礎としてのインセンティブとエージェント論―Julian Le Grand の議論について
- 国際的租税回避行為の否認について―タックス・シェルター問題を中心として
- 申告納税制度における更正処分通知の「理由付記」についての考察―税務行政手続きにおける納税者の権利、利益の保護のために
- 質問検査権における法的限界の検討―納税者の権利保護を中心として
- 北一輝の政治思想―特にその天皇観を中心に重傷心身障がい者の地域生活推進に関する政策的研究
- 介護保険制度における認定調査と生活目標に基づくケアプラン作成過程の現状と改善策の検討
- 保護観察対象少年の就労支援における協力雇用主の役割とその評価に関する研究
- スtockオプション課税に関する一考察
- 農業協同組合の福祉活動の現状と課題
- 足尾銅山鉱毒事件における田中正造の活動と思想―おもに、その議員時代を中心として
- 組織再編成税制における資本等取引と損益取引の区分に関する研究
- 消費税複数税率化の諸問題
- 新たな事業体をめぐる税制に関する研究―合同会社を中心に
- 移転価格税制における問題点の検討―無形資産取引における独立企業間価格の設定を中心として
- エンジェル税制の研究
- 保証債務を履行するために資産を譲渡した場合の課税問題の一考察―求償権行使不能の判断基準を中心とした法解釈の検討
- 親族に係る事業経費の問題についての検討
- 金融所得課税一体化に関する研究―損益通算の問題を中心として
- 所得税法第157条についての一考察―同条の存在意義の有無
- フリンジベネフィット課税についての一考察
- 消費税の諸問題について―特に中小事業者の抱える問題を中心に
- 日中企業の移転価格税制に関する研究
- 金融所得課税の一体化に係る問題点の検討
- 交際費課税の研究
- 企業会計・会社法・法人税法の三位一体からの乖離について―トライアングル体制下の税務基準のあるべき方向性
- 中国株市場の現状と課題―日本の株市場との比較について
- 法人税法上の繰越欠損金についての一考察
- タックスヘイブン税制に関する一考察
- 中小企業にかかる事業承継税制に関する一考察
- 公益法人課税についての研究―公益法人の収益事業に対する課税を中心に
- 法人税法におけるリース取引の課税問題
- 減価償却に関する一考察―損金経理の検討を中心として
- 給与所得控除の控除理由の検討と今後のあり方について
- 法人税法第132条に規定する租税回避行為の研究
- 重加算税賦課要件―第三者による隠蔽・偽装行為と納税者本人の帰責性
- 確定決算主義について―逆基準性に関しての検討
- 土地建物等の譲渡損失に係る損益通算制度―平成 16 年度税制改正による制限を中心として

- 同族会社の行為計算否認規定に関する一考察―所得税法157条を中心として
- 貸倒れにかかる税制の研究―法人税法における貸倒損失計上の要件について
- 新島襄に学んだ教育者・井上浦造―「共立普通学校」を創設した井上浦造の生涯と思想を中心に
- インボイス方式導入の考察―日本における仕入税額控除の問題を中心として
- タックス・ヘイブン対策税制における課題
- 取引相場のない株式の税法上の評価―少数株主が取得した場合の取引相場のない株式の評価を中心に
- 日中内需拡大策の推移と課題―前11月レポートの検討を通して
- 日本の外国人雇用政策の特徴

人間福祉学研究所

- 救護施設における入所者の「自己決定」と援助者のかかわり
- 母親の育児不安を軽減する子育て環境に関する検討―精神的サポート・育児ヘルプ・公的子育て支援事業の利用の観点から
- アスペルガー症候群児童への支援方法の研究― SST によるセルフ・コントロール・スキル獲得を目指して
- 配偶者を亡くした遺族のグループプロセスとその宗教的影響について―臨床心理学の観点から
- ホームヘルプにおけるヒヤリ・ハットと事故の分析
- 「子育てサロン」の可能性に関する考察―主任児童委員の子育て支援の事例に基づいて
- ケーススタディによる父子家庭支援施策の評価に関する研究
- 児童養護施設における不登校児童への対応の困難さ―職員が直面している問題の分析
- クリティカルパスに基づく教材を用いた新人看護師の教育効果に関する実証的研究―心臓カテーテル検査を例として
- コミュニス教育の救済論的視点―「大教授学」における人間理解を手がかりに
- 児童虐待の疑いのある事例における市町村保健師とソーシャルワーカーの連携
- わが国の延命治療判断における遅れ―日米裁判例を素材に
- 自助グループの必要性和意義―自死遺族ケアの促進
- 終末期がん患者の在宅におけるスピリチュアルケアの考察―一考察―配偶者と死別体験者の「語り」からみえるスピリチュアルケア
- 父親の子育て参加意識を高める社会教育プログラムの考察―参与観察による評価研究
- 日本のプロテスタントの牧師の疲弊―牧師のストレス類型とその臨床像の検討
- 精神障害者小規模作業所における職員の支援過程の研究―就労を目的としない作業所職員に焦点を合せて
- 福祉の支援が必要な矯正施設を所した知的障がいを持つ人々への社会的支援
- 高次脳機能障害をもつ人の自立生活再獲得過程―関係論的自己決定の可能性をめぐって
- 小中学校教師のストレスとメンタルヘルスに関する研究
- 看護学生が臨床実習中を受けるストロークの受け止め方と性格特徴との関係―エゴグラムを用いた一考察
- 群馬県に在住する外国人とその家族の生活意識からみた「生活のしづらさとソーシャルサポートの必要性」について
- 社会構造と政策の変化が国民健康保険制度に及ぼす影響とその評価―自治体の視点から

2011～2012 年度 聖学院大学大学院 学生募集要項
募集人員

アメリカ・ヨーロッパ文化学研究所(博士前期課程)・・・・・・・・・・・・・5名
 <シニアコース 若干名>
 アメリカ・ヨーロッパ文化学研究所(博士後期課程)・・・・・・・・・・・・・5名
 政治政策学研究所(修士課程)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10名
 人間福祉学研究所(修士課程)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10名

出願資格

【修士課程・博士前期課程】

次のいずれかに該当する者とします。

- (1) 学士の学位を取得した者、及び入学時までに取得見込みの者
- (2) 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者、及び入学時までに修了見込みの者
- (3) 文部科学大臣の指定した者
- (4) 入学時までに大学に 3 年以上在学し、所定の単位を優れた成績をもって修得したと本大学院が認めた者
- (5) 大学を卒業した者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者

【アメリカ・ヨーロッパ文化研究科シニアコース】

次のいずれかに該当する者とします。

- (1) 入学時に満 50 歳になっている者
- (2) 学士の学位を取得した者、及び入学時までに取得見込みの者
- (3) 大学を卒業した者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者
- (4) その他【修士課程・博士前期課程】の入学資格に準拠する

【博士後期課程】

次のいずれかに該当する者とします。

- (1) 修士の学位を有する者、及び入学時までに取得見込みの者
- (2) 外国において修士の学位またはこれに相当する学位を得た者
- (3) 文部科学大臣の指定した者
- (4) 修士の学位を得た者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者

【出願資格の事前審査】

修士課程・博士前期課程の(4)及び(5)、シニアコースの(3)、博士後期課程の(4)に該当を希望する者は、各入試出願期間の1ヶ月前までに「履歴書」「研究希望書」「研究あるいは職務業績書」(以上の書式は自由)、及び「最終学歴の卒業証明書」「最終学歴の成績証明書」を大学院事務室へ提出すること。大学院委員会での事前審査をもって、受験資格の可否を決定いたします。

選考日程

	夏期入試	秋期入試	春期入試
出願期間	2011 年 6 月 13 日 (月)～22 日 (水)【消印有効】	2011 年 11 月 1 日 (火)～8 日 (火)【消印有効】	2012 年 1 月 30 日 (月)～2 月 7 日 (火)【消印有効】
出願書類受付時間	平日 午後 1 時～午後 7 時 土曜 午前 9 時～午後 4 時	平日・土曜 午前 9 時～午後 4 時 (11 月 7 日・8 日は午後 8 時まで受付)	平日・土曜 午前 9 時～午後 4 時
試験日	2011 年 7 月 2 日 (土)	2011 年 11 月 19 日 (土)	2012 年 2 月 18 日 (土)
選考結果発表	2011 年 7 月 5 日 (火)	2011 年 11 月 22 日 (火)	2012 年 2 月 21 日 (火)
入学手続期間	2011 年 7 月 6 日 (水)～13 日 (水)	2011 年 11 月 24 日 (木)～12 月 1 日 (木)	2012 年 2 月 22 日 (水)～2 月 29 日 (水)

1. 出願について

日曜・祝日は受け付けません。

志願者は本大学院所定出願様式に基づいて出願書類を取りそろえ、所定の期日までに下記宛に提出してください。

なお、郵送の場合は「簡易書留速達」とし、封筒に希望研究科等を記入してください。

提出先 〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎 1 番 1 号 聖学院大学大学院 ○○○○学研究科

2. 合格発表について

午後 1 時から午後 4 時に本学内に掲示するとともに、午後 4 時以降受験者全員に郵送で合否結果を通知します。

3. 入学手続きについて

合格者は上記入学手続期間内に納入金を本学所定の振込用紙により銀行に振り込んでください。期日までに手続をしない場合は入学を許可しません。

その他、提出書類や手続の詳細については合格者に別途通知します。

4. 秋学期入学希望者

秋学期（9月）入学希望者は、入試当日に所定用紙にて申し出てください。

5. 博士後期課程

博士後期課程入学選考は秋期入試、及び春期入試に行います。

試験内容

【修士課程・博士前期課程】

	外国語科目（60分）	アメリカ・ヨーロッパ文化学 研究科専門科目(60分)	政治政策学研究科 専門科目(60分)	人間福祉学研究科 専門科目(60分)	面接試験
一般入試	「英語・独語・仏語」 から1科目選択	「小論文約1600字」 アメリカ文化学・ヨー ロッパ文化学・キリス ト教文化学・日本文 化学より1題選択	「小論文約1600字」 政治学・経済学・公 共政策学より1題選択	「小論文約1600字」 社会福祉学・社会学・ 心理学・児童学・ 死生学より1題選択	研究計画書に基づく 面接
留学生入試	なし	同上	同上	同上	同上
社会人入試・シニアコース	なし	「小論文約1600字」当日テーマが与えられる(60分)			同上

※「外国語科目試験」は辞書持込可（通信機能を有するものは不可）。 ※集合時間、午前10時頃 ＜詳細は後日連絡＞

【博士後期課程】

試験科目	英語(60分) ※「英語試験」は辞書持ち込み可（通信機能を有するものは不可）。	研究計画書に基づく面接
------	---	-------------

※集合時間、午前10時頃 ＜詳細は後日連絡＞

選考方法・受験資格

【修士課程・博士前期課程・博士後期課程】

	選考・受験資格・入試科目免除など
一般入試	選考は、筆記試験（外国語科目・専門科目）、研究計画書に基づく面接試験のほか、出身大学の調査書等を総合して行います。 （入試科目免除） 次の①～③のいずれかに該当する者については、筆記試験のうち外国語科目の試験を免除します。全員が提出するものに加え、合格（証明）書等を提出してください。 ①国際連合公用語検定英語試験B級合格者、実用英語技能検定試験準1級合格者、TOEFLのCBTスコアが〔政治政策学研究科、人間福祉学研究科：173点（旧500点）〕〔アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科：213点（旧550点）〕以上の者、またはTOEICのスコアが〔政治政策学研究科、人間福祉学研究科：600点〕〔アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科：750点〕以上の者 ②ドイツ語中級統一試験（Zentrale Mittelstufenprüfung des Goethe-Instituts）修了者、ドイツ語技能検定試験2級合格者、または同等の資格取得者 ③国際連合公用語検定仏語試験B級合格者、実用仏語技能検定試験2級合格者、またはパリ大学語学認定試験初級合格者
留学生入試	（受験資格） 外国籍を有する者については、専門科目に関する小論文（日本語）と研究計画書（日本語）の審査及びそれに基づく面接により選考します。ただし、財団法人日本国際教育支援協会の主催する日本語能力試験（一級またはN1）で合格、または独立行政法人日本学生支援機構の主催する日本留学試験（日本語）で275点に達していることが条件となります。なお、日本の大学等を卒業又は見込みの者で、上記の日本語能力資格を満たしていない者は、大学院事務室へ相談ください。
社会人入試	（受験資格） 大学卒業後3年以上の者で、かつ入学時に大学等卒業後1年以上の社会人経験 ※注 を有する者。専門にこだわらないテーマの小論文（日本語）と研究計画書（日本語）の審査及びそれに基づく面接により選考します。 ※注） 社会人経験につきましては、大学院事務室へお問い合わせください。
アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科シニアコース	専門にこだわらないテーマの小論文（日本語）と研究計画書（日本語）の審査及びそれに基づく面接試験により選考します。
博士後期課程	入学者の選考は、英語試験、出願書類及び面接試験により総合して行います。 入学選考は「秋期入試」及び「春期入試」で行います。

出願書類

修士課程・博士前期課程・シニアコース

1. 全員が提出するもの

出願書類	様式	備考
入学願書	本学所定用紙	必要事項を記入。
受験票・副票	本学所定用紙	必要事項を記入。（銀行窓口で振り込む場合には、副票の取扱銀行収納欄に、入学検定料振込みの押印を受けてください。）
入学検定料	本学所定用紙	振込依頼書、領収書に必要事項を記入し、銀行等で入学検定料 35,000 円を添えて振り込んでください。ネットバンキングやカード決済も利用可能です。詳細は願書を参照。
写真2枚	—	出願前3ヶ月以内に撮影したものを入学願書、副票に添付。㍻4cm×㍻3cm。正面上半身。脱帽。背景無地。
卒業（見込）証明書	—	最終学歴のもの、及び大学院修士課程修了者は、修了証明書も提出、あるいは学位授与証明書。
成績証明書	—	最終学歴のもの、及び大学院修士課程修了者は、大学院の成績証明書も提出。
研究計画書	—	志願理由を含めた研究背景、研究テーマ、研究計画及び希望進路について日本語で2,400字以内（パソコン A4 判用紙 40 字×30 行で印字）でまとめる。また、卒業論文・修士論文等を作成した経験を有する者は、そのテーマ等を記載すること。

※アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科シニアコース入試受験者は、全員が提出するものに加え、健康診断書（本学所定用紙）を添付してください。

2. 外国籍を有する者(留学生入試も含む)

全員が提出するものに加え、次の書類を添付してください。

出願書類	様式	備考
外国人登録原票記載事項証明書	—	公的機関が発行し、在留資格及び在留期間が明記されている。
パスポートの写し	—	写真のあるページと在留期間と在留資格印がわかる部分。
身元保証書	本学所定用紙	日本在住者または母国の保護者の保証。

※留学生入試を受験する者は、上記に加え日本語能力試験（一級またはN1）の合格通知書、または日本留学試験（日本語）点数通知票を提出すること。

3. 社会人入試

全員が提出するものに加え、次の書類を添付してください。

出願書類	様式	備考
勤務先所属長の推薦書	本学所定用紙	もしくは入学願書裏面の自己申告書。
業務報告書、学術論文、研究調査報告などの業績	—	該当するものがある場合は、そのコピー及びその概要を A4 判用紙横書きにまとめる。

博士後期課程

1. 全員が提出するもの

出願書類	様式	備考
入学願書	本学所定用紙	必要事項を記入。
受験票・副票	本学所定用紙	必要事項を記入。（銀行窓口で振り込む場合には、副票の取扱銀行収納欄に、入学検定料振込みの押印を受けてください。）
入学検定料	本学所定用紙	振込依頼書、領収書に必要事項を記入し、銀行等で入学検定料 35,000 円を添えて振り込んでください。ネットバンキングやカード決済も利用可能です。詳細は願書を参照。
写真2枚	—	出願前3ヶ月以内に撮影したものを入学願書、副票に添付。㍻4cm×㍻3cm。正面上半身。脱帽。背景無地。
修了(見込)証明書	—	最終学歴のもの。
成績証明書	—	最終学歴の成績証明書。
修士論文(写し)	—	またはそれに相当する論文の写し。
修士論文要旨	—	またはそれに相当する論文の要旨。2,000 字程度。(パソコン A4 判用紙 40 字 ×30 行)
研究計画書	—	3,500 字程度。(パソコン A4 判用紙 40 字 ×30 行)

※外国籍を有する者は、修士課程・博士前期課程・シニアコースの「2.外国籍を有する者(留学生入試も含む)」に記載されている書類も添付してください。

学費等納入金（2011 年度）

項 目					入 学 金	授 業 料	施 設 費	合 計
学 費	博 士 後 期 課 程	修 士	1 年	春 学 期	280, 000	365, 000	60, 000	705, 000
				秋 学 期		365, 000	60, 000	425, 000
		2 年	春 学 期			365, 000	60, 000	425, 000
				秋 学 期		365, 000	60, 000	425, 000
		3 年	春 学 期			365, 000	60, 000	425, 000
				秋 学 期		365, 000	60, 000	425, 000

- ☆修士課程は標準2年間、博士後期課程は標準3年間です。

(単位：円)
- ☆上記納入金のほか、入学時に保険料（修士課程、博士前期課程 1,750 円、博士後期課程 2,600 円）、後援会年会費 5,000 円を納入していただきます。
- ☆入学時納入金は**修士課程、博士前期課程 711,750 円、博士後期課程 712,600 円**になります。
- ☆入学手続後の入学辞退につきましては、2012 年 3 月 31 日（必着）までに本大学院所定の入学辞退届（保証人連名のこと）を提出した者に限り、入学金を除く納入金を返却します。
- ☆入学後、任意による「聖学院教育振興資金」のご協力をお願いします。
- ☆学内進学者について修士課程・博士前期課程は入学金半額、博士後期課程は入学金を除きます。
- ☆アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科シニアコースは、標準修業年限2年のところを3年、または4年まで延長することが可能です。この場合、原則として修業年限の延長に伴う新たな学費の負担はありません。

聖学院大学大学院

〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎1番1号
http://www.seigakuin.jp/grad/

- 【進学相談会のお問い合わせ】 広報課 (TEL) 048-780-1707 (FAX) 048-725-6891
- E-mail grad@seig.ac.jp
- 【入学試験のお問い合わせ】 大学院事務室 (TEL) 048-725-0781 (FAX) 048-781-0421
- E-mail gradschool@seigakuin-univ.ac.jp

科目等履修制度

科目等履修制度とは

「学びたい意欲はあるけれど、今は時間の都合がつかない」という社会人や一般の方のために、正規に大学院に入学しなくとも、特定の授業科目を履修できるのが科目等履修制度です。この制度を利用して、まず科目履修生になって単位を取得し、その後正規に大学院に入学し修了した方もいます。また、まず科目等履修で単位を取得し、さらに正規に大学院に入学してから1年間で修士課程を修了することも可能です。聖学院大学大学院では、とくに単位の取得を希望しない方の受講（聴講生）も認めています。

受講できる科目・科目数

開講されている科目で、演習科目以外はどれも受講できます。講義の内容や時間割は、「時間割ページ」および「講義概要ページ」をご覧ください。ただし、正規大学院生の履修登録がない科目は「閉講」となりますので、その場合は受講できません。各学期、2科目8単位を限度とします。正規に大学院に入学した時、科目等履修で取得した単位が10単位まで修了単位数に数えられます。 ※本学の科目等履修生・聴講生制度では在留資格「留学」は取得できません。

費用

科目等履修生として入学を許可された場合の納入金額		単位を必要としない場合（聴講生）の納入金額	
入学科	1単位あたり	入学科	1単位あたり
30,000円	15,000円	10,000円	10,000円

※ 受講期間は最長2年間。この間の更新については入学科免除となります。
※ 本大学院修了生は入学科を免除し、聴講料は半額となります。
<例>2単位科目を1科目受講した場合（単位必要＝60,000円／単位不要＝30,000円）
2単位科目を2科目受講した場合（単位必要＝90,000円／単位不要＝50,000円）

科目等履修生となる資格

大学院の入学資格と同じですが、現在、入学資格も弾力的になっていますので、詳しくは大学院事務室にお問い合わせください。

出願書類

本学所定の「科目等履修生受講願 / 聴講生聴講願」（出願期間前に本学ホームページにアップされます）に、「履歴書」「卒業証明書」「住民票抄本」「写真1枚」を添えて、大学院事務室に出願してください。

出願期間

科目担当教授、研究科委員会の承認と許可が必要になりますので、下記期間に出願してください。
本年度秋学期：2011年9月1日～6日 来年度春学期：2012年3月1日～14日

成績の認定について

大学院生と一緒に受講しますので、課題の発表やディスカッションにも参加します。成績は大学院生と区別なく評価されます。合格した場合には所定の単位が認定され、成績表を発行・郵送いたします。なお、「受講単位取得証明書」がご入用の場合は、所定の用紙にて学生課にお申し込みください。

集中公開講座の受講

以下の科目は集中講義として広く公開しています。単位認定を希望する場合は科目等履修生として登録することをお勧めします。
■『北東アジア国際関係研究』（2単位）：康 仁徳客員教授（元韓国統一院長官）による「北東アジア地域における日・露・中・米の対決と協力関係」の集中講義を10月、11月の土曜日（全8回）に開催。

EVENTS SCHEDULE

[震災による改定前の学年歴] ※進学相談会は11:00～15:00。1人30分程度で予約制です。広報課までご連絡下さい。			
4月 April 1日 入学式・ガイダンス 2・4日 履修相談・登録 9日 春学期授業開始	5月 May 18・25日 キリスト教講演会 ・コンサート 28日 進学相談会* 31日 修士論文テーマ提出	6月 June 4・11日 進学相談会*	7月 July 2日 夏期入試 4日 研修会レジュメ提出締切 18日 大学院研修会 29日 春修士論文提出締切
8月 August 1日 春学期授業終了 31日 秋学期履修登録締切	9月 September 1～6日 秋科目等履修生申込 6日 春修士論文審査面接 9日 春修了生発表 21日 春学期学位記授与式 秋学期入学式・ガイダンス 24日 秋学期授業開始 28日 奨学金授与式	10月 October 8・15・29日 進学相談会* 19・26日 創立記念講演会 29日 博士後期課程論文中間発表会	11月 November 1～4日 ヴェリタス祭（学園祭） 19日 秋期入試 30日 点火祭
12月 December 10日 進学相談会* 19日 博士予備審査論文提出 20・21日 クリスマス礼拝	1月 January 14・21日 進学相談会* 31日 秋修士論文提出締切	2月 February 4日 秋学期授業終了 7～9日 秋修士論文審査面接 18日 春期入試 24日 秋修了生発表	3月 March 1～14日 次年度科目等履修生申込 16日 卒業礼拝 17日 学位記授与式



ACCESS MAP

〔スクールバス利用の場合〕
JR高崎線宮原駅から7分、
またはJR埼京線西大宮駅から10分

〔徒歩の場合〕
JR高崎線宮原駅、
またはJR埼京線日進駅から15分

〔参考〕
新宿 - 西大宮(通勤快速)：40分
上野 - 宮原：30分
※西大宮駅は大宮から2駅 8分

聖学院大学大学院

〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎1番1号 TEL 048-780-1707 FAX 048-725-6891
[E-mail] grad@seig.ac.jp <http://www.seigakuin.jp/grad/>

